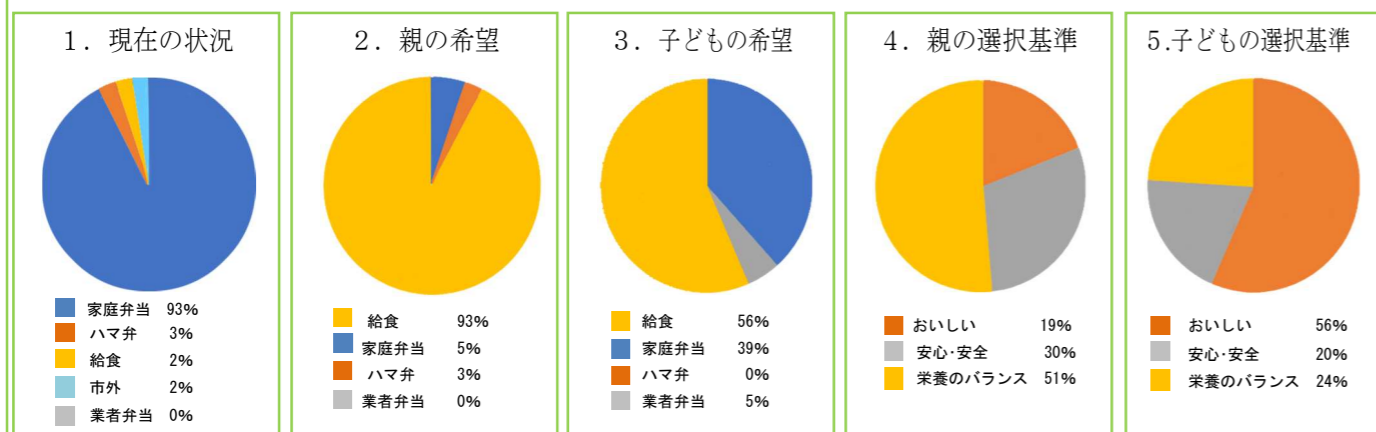


「横浜の中学校給食」について卒園児の現役中学生親子に聞いてみました！

アンケート依頼 117人 回答 43人（お忙しい中、ご協力ありがとうございました。）



親からひと言

- 毎朝の弁当作りは大変。ハマ弁は量が少ない。○給食は苦手なものも食べられてよい。
- ハマ弁はクオリティが低く費用が高い。○朝練の時保存（腐敗）が心配。
- 給食はみんなで同じものが食べられる。○給食は栄養があり暖かい。○親の負担を考えてほしい。
- 成長期は給食が不可欠。○弁当は栄養バランスが把握できない。○中学生の体にはバランスの良い給食を。
- 経済的負担の軽減を。○横浜だけなぜ給食ができないのか。○ぜひ、給食の実施を。

子どもからひと言

- 弁当は好きなものが多い。給食は栄養と暖かいところが良い。
- 保育園、小学校とも自校方式でおいしかった。中学校も自校方式で。
- お弁当は重い。給食は友達と会話が盛り上がる。○ハマ弁はまずい、冷たい、おかずが良くない。
- 朝練の時親が作れないので給食が良い。○時間がなく弁当が便利。ハマ弁は誰もいない。
- 給食はおいしかった。○業者弁は味が濃くて食べられない。○家族が忙しいから給食がよい。
- ハマ弁は取りに行く時間がない。○お母さんが大変そう。○小学校の時のようにみんなで楽しく食べたい。

※親子共通して、給食時間が15分と短いことを挙げています。

“横浜にも中学校給食を!!”と署名に取り組んでいる新杉田のびのび保育園の保護者・小杉佳史さんからひと言

予想はしていましたが、生徒の「ハマ弁」希望者【0】は非常に衝撃的でした。保護者（栄養バランス重視）と生徒（おいしさ重視）双方の選択基準を満たすため「給食」は実施すべきです。”基本を「給食」とし「家庭弁当」を任意選択も可能“といったスタイルが民意を汲む理想像であり、このアンケートには”中学校給食”実施への思いが強く感じられました。これからの日本を担う子どもたちの食環境が、少しでも改善されるよう、引き続き頑張ります！



カワセミ(翡翠)



写真は舞岡公園で撮影。

水辺の宝石と呼ばれ、バードウォッチャーに人気の鳥。コバルトブルーの体に長くちばしが特徴。ちばしの下が赤いのはメス(写真はオス)。

水面近くを速く直線的に飛び、「チーッ」などと鳴く。舞岡公園の池や周辺の小川アメニティーなどで見ることができます。

野原 遊



社会福祉法人あらぐさ会／わかば保育園・新杉田のびのび保育園・笹下保育園
〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町992番地 Tel/Fax 045-443-5564
あらぐさ会ホームページ <http://www.aragusakai.sakura.ne.jp/>

2019年2月号



保育所保育指針 その内容を考えるパート2

昨年の4月にスタートした「新」保育所保育指針ですが、そろそろ2年目を迎えるので、この際「新」は外したいと思います。

保育指針のどこがおかしいのか、何が変なのか自分たちの言葉で伝えられるようにしたい！ということで、昨年10月から横浜保育問題協議会で「保育指針研究会」を毎月行っています。初めに、人が人になっていく「子どもの発達過程」をしっかり学び、そのうえで、保育指針が子どもたちに求めている事柄との矛盾をつかもう、というわけです。

今回は皆さんに、国が求めている6歳児の姿「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を知っていただき、どんな感想を持たれたか、ぜひご意見等をきかせてください。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿＝子どもの小学校就学時の具体的な姿

1. 健康な心と体…見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活を作り出す
2. 自立心…しなければならないことを自覚し、諦めずにやり遂げる
3. 協同性…友達とお互いの思いなどを共有し、目的の実現に向けて協力してやり遂げる
4. 道徳性・規範意識の芽生え…よいことと悪いことが分かり、決まりを守る
5. 社会生活との関わり…家族を大切に、地域に親しみ、自分が人の役に立つ喜びを感じ、情報を役立て、公共の施設を大切にする
6. 思考力の芽生え…物の性質や仕組みに気づき、考え、工夫し、判断する
7. 自然との関わり・生命尊重…自然への愛情や畏敬の念を持ち、動植物を大切にする
8. 数量や図形、標識や文字への関心・感覚…標識や文字の役割に気づき、活用する
9. 言葉による伝え合い…絵本や物語に親しみ、豊かな言葉や表現を身に付ける
10. 豊かな感性と表現…心を動かす出来事に触れ感性を働かせ、素材の特徴や表現の仕方に気づき、表現する喜びを味わい、意欲を持つ

社会福祉法人あらぐさ会 理事長 辻村 久江

